

台風7号

6月29日(金)に日本の南で発生した台風7号は、7月1日(日)には暴風域を伴って時速20kmの速度で北上を続け、7月2日(月)には中心気圧970hPa、中心付近の最大風速30m/sの勢力で久米島にかなり接近し、その後も勢力を強めて北上を続け、次第に沖縄地方から遠ざかっていきました。

最大瞬間風速は、南城市糸数で43.7m/s(2日3:16)、渡嘉敷島で39.0m/s(2日1:54)、慶良間空港で37.0m/s(1日20:41)を観測しました。

また、7月2日(月)には、沖縄本島地方に大雨警報(土砂災害、浸水害)が発表され、総降水量の多い所は、読谷村で162.5mm、那覇市樋川で159.5mm、沖縄市胡屋で159.0mmでした。

今回の台風では、沖縄本島から慶良間諸島および沖縄本島の周辺離島へ11人の事前派遣を行いました。



設備被害状況

電柱破損(折損、倒壊)	1本
電線断線[高圧]	13条・スパン
電線断線[低圧]	6条・スパン
柱上変圧器破損	7台

停電状況

最大時停電戸数	4,940戸(7/2 5:00)
---------	------------------



配電設備への樹木接触